

# 令和7年度緩衝帯整備業務委託（徳山地区） 仕様書

## 1. 作業の内容

施工地における自然林を次の内容により整備する。

- (1) 刈払い(全刈)
  - ・草刈機による下層木、下草の全刈筋置とする。
- (2) 樹木伐採
  - ・チェーンソーによる上層木の伐倒、枝払い、玉切り、片付けまでを行う。
  - ・幹、枝葉は、林内に筋置処分とする。
- (3) 竹林整備
  - ・チェーンソーによる放置竹林の伐倒、集積までを行う。
- (4) 看板設置
  - ・「いしかわ森林環境税」の活用を示す看板（標柱）を設置する。詳細は発注者が別途指示する。
- (5) 作業区域の詳細については、あらかじめ発注者および地元町会長と協議すること。

## 2. 伐採の対象木

- (1) 刈払いは全刈とする。
- (2) 本数調整伐により伐採する対象木は、胸高直径で10cm以上16cm未満とする。
- (3) 伐採木の選定は250本/haを目安で実施し、あらかじめ発注者および地元町会長と協議すること。
- (4) 実施区域内における絶滅危惧種等の希少植物は伐採しないこと。
- (5) 土地の境界木と思われる立木は伐採しないこと。

## 3. 安全の確保等

作業の実施にあたっては、労働基準法、労働安全衛生規則及びこれらに基づく法令、規則、通達ならびに草刈機・チェーンソーによる振動障害防止措置に関する通達を遵守すること。

- (1) 作業中は、当該作業地域に関係者以外の者が立ち入らないよう措置すること。
- (2) 作業に用いるチェーンソーには、生分解性オイルを用いること。
- (3) 立木を伐採する際は、伐採対象外の立木及び電線・街灯柱等に損傷を与えないよう留意すること。万が一損傷した場合は、受託者は監督員と協議し、必要がある場合は受託者の負担において復元等の措置を講じるものとする。
- (4) 急傾斜箇所等に考慮し、事故等がないように努めること。

## 4. その他の事項

- (1) 受託者は、契約において定める委託料を、この事業以外に使用してはならない。
- (2) 受託者は、受託事業にかかる経費について帳簿を備え、収支を明らかにするとともに、その基礎となる証拠書類を整備して、委託者の求めに応じてこれを提示しなければならない。
- (3) 受託者は、発注者が求める完了検査に必要な準備、作業及び書類作成に協力しなければならない。
- (4) 受託者は、完了検査に不合格の際は、速やかに作業をやり直すこと。